

令和3年度 事業報告

I 事業概要

令和3年度の経済は、昨年度と同様に日本国内に限らず、世界的に低迷した年となりました。世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染拡大と、期後半ロシアの暴挙によるものと判断されます。

特に、新型コロナウイルス感染拡大は、当センター事業運営に大きな影響を及ぼし、その都度苦渋の判断を迫られ、対応に苦慮した1年でありました。

この様な状況下でありながら、事業の担い手となる会員数は、在籍会員による入会斡旋や各種の対策の効果により、目標数470名のところ473名に達しました。

60歳以上の町人口に対する会員数の割合（粗入会率）と会員数に対する女性会員の割合は、京都府内ではもちろん、全国においてもトップクラスに位置付けされます。これも皆様のご理解・ご協力によるものと感謝いたしております。

事業実績におきましては、悪条件の影響を大きく受けながらも、受託事業（請負・委任）が20,070万円余り、派遣事業は3,930万円余り、両事業併せ24,000万円余りとなり、対前年度比1,410万円余りの増収で、106.2%の達成となりました。これは14年連続で前年度を上回るもので、毎年確実に成長を遂げております。今後も成長を維持するためには、更なる努力が必要となります。

安全就業において「無事故」を目指しておりますが、その結果は昨年度を1件下回るものの5件発生いたしました。今後も、一人一人に注意喚起を行い、安全就業の徹底に努めてまいります。

今回、念願であった事務所内の老朽箇所の改修を行い、大変明るくきれいになりました。

主たる事業概要は以上のとおりです。

現状の経済低迷において、今後も事業運営に影響を及ぼし続け、簡単には収まらない様相です。様々な制約が残りと予想されるなか、オールシールバー一丸となって頑張っていかなければなりません。

会員各位のなお一層のご協力の程、よろしくお願いいたします。

II 事業結果

項目	目標数値	令和3年度 実績	昨年度(令和2年度) 実績	前年比
正会員数	470名	473名	440名	<u>33名増</u>
安全就業	無事故	傷害事故2件 賠償事故2件 車両事故1件	傷害事故2件 賠償事故2件 車両事故2件	保険適用事故 合計1件減
受託事業(請負・委任)				
①受託件数	—	2,324件	2,330件	<u>6件減</u>
②受託契約金額	210,000千円	200,704千円	192,596千円	<u>8,108千円増</u>
就業実人員	—	366人	328人	<u>38人増</u>
③就業延実人員	—	46,504人日	45,289人日	<u>1,215人日増</u>
派遣事業				
④派遣件数	—	232件	216件	<u>16件増</u>
⑤派遣契約金額	36,000千円	39,379千円	33,379千円	<u>6,000千円増</u>
就業実人員	—	48人	49人	<u>1人減</u>
⑥就業延実人員	—	6,969人日	5,886人日	<u>1,083人日増</u>
件数合計 (①+④)	—	2,556件	2,546件	<u>10件増</u>
契約額合計 (②+⑤)	246,000千円	240,083千円	225,975千円	<u>14,108千円増</u>
就業延人員合計 (③+⑥)	53,200人日	53,473人日	51,175人日	<u>2,298人日増</u>

III 事業実施結果

1 会員の拡大をめざして

本年度正会員登録目標数「470名」の達成を目指して、会員・役職員が一丸となって取り組みました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) 会員拡大推進員の活動

令和3年10月7日より、会員の中から11名の会員拡大推進員を委嘱し活動を

スタートしましたが、新型コロナ(オミクロン株)の脅威を考慮して、残念ながら、12月までの3ヶ月間で終了した。(延べ67名の方に声かけをした。)

- (2) シルバー立看板(50か所)等の活用
- ・当センターの宣伝の場として主に会員獲得を目的にPR活動に努めた。
7月、10月、1月の3回掲示物を更新した。
 - ・当センター理事所有地(佐山双置の府道沿い)2ヶ所の巨大看板による宣伝活動
 - ・センター事務所外壁に、四季に合わせた「会員募集宣伝幕」を取付けPRした。
- (3) 会員による勧誘活動
- ・「会員紹介に対する協力者への活動費の支給」を実施
結果、会員の紹介により27名の方が入会された。
 - ・次年度(令和4年4月1日)に向けて「シルバー協力隊(取次所)」事業の準備を行った。
- (4) 退会者の抑制を図る取組み
- 働く意欲はあるが、本人の病気や家族等の介護を理由に、働けない会員から、「会費免除願い」が提出され、当該年度の会費免除を理事会において承認した。
本年度の会費免除者：30名
- (5) 会員の生きがいづくりサポート事業の実施
- 「なんでもサロン」、「クラフト手芸講座」、「スマホ講習会」を1年度間、毎月予定し開催した。しかし、新型コロナの感染拡大により中止にした月もあった。
- ・「なんでもサロン」 8回開催 参加者延べ数77名
 - ・「クラフト手芸講座」6回開催 参加者延べ数63名
 - ・「スマホ講習会」 5回開催 参加者延べ数56名
- (6) 会員で居続けたいと思える会員特典等の実施
- ・全会員へ「バースデーカード」の送付。バースデーカードを持って来所された会員にはプレゼントを贈呈した。
 - ・2022年版(令和4年)カレンダーを作製し事務所にて配布した。
 - ・会員が来所され、くつろげる場所「会議室や談話室」の改修工事を行った。
(令和4年3月完成)
 - ・次年度に向けて「会員特得サービス」制度の準備を行った。
- (7) その他の活動
- ・高齢者活躍人材確保育成事業として、町広報紙(1日号)への有料広告の掲載(4月～3月)と「整理収納セミナー」を実施した。(セミナー参加者：一般8名、会員3名)
 - ・会員募集チラシを全戸に配布した。(8月、2月)
 - ・巨大チエブクロー(バルーン)を作製し事務所玄関前に設置した。
 - ・次年度に向けて「シルバー・パートナー・ショップ」事業の準備を行った。

【参考：入会者の経路】

入会経路の理由	男	女	合計
会員による紹介	12名	15名	27名
センターの広報資料(立て看板・チラシ等)	12名	15名	27名
公共機関を通じて	0名	2名	2名
その他(発注者等からの紹介)	1名	2名	3名
合計	25名	34名	59名

2 事業の拡大をめざして

本年度契約金額目標額「246,000千円」(内訳：請負・委任210,000千円、派遣36,000

千円)の達成を目指して取り組みました。

しかし、新型コロナの影響もあって、目標額を達成することができませんでしたが、このような状況でも、柔軟に対応することを心掛け、その結果として昨年度の実績を上回ることができました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) 既存先と更なる信頼関係を目指して

- ・事業部会員及び事務局による既存先への訪問を実施した。

(訪問件数：長期契約先 50 社)

- ・迷惑をかけないように、会員の就業体制等を考慮して対応した。

- ・会員の事由により急な就業辞退の申し出に対しては、迅速な対応を心掛けた。

(2) 新規依頼の対応及び営業活動

新規の依頼に対しては、商機を逃さないよう積極的に対応した。しかし、新型コロナ禍の中、営業活動は控えることとなった。

(3) 適正な請負・委任事業の対応

京都府最低賃金単価の改定に伴い、令和4年10月1日以降について、配分金単価の改定を行い契約した。

(4) 適正なシルバー派遣事業の対応

労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第26条第7項に基づき、比較対象労働者の待遇等に関する情報提供を基に契約した。

本年度の受託並びに派遣事業実績は次のとおりです。

【請負・委任事業実績】

区 別	項 目	本年度(R3)	規 模	前年度(R2)	規 模	前 年 比
公 共	受託件数(件)	396	17.04%	402	17.25%	6 減
	契約金額(円)	28,595,616	14.25%	28,943,450	15.03%	347,834 減
民間企業	受託件数(件)	1,441	62.00%	1,381	59.27%	60 増
	契約金額(円)	163,595,190	81.51%	154,832,366	80.39%	8,762,824 増
一般家庭	受託件数(件)	437	18.80%	485	20.82%	48 減
	契約金額(円)	8,455,995	4.21%	8,760,795	4.55%	304,800 減
ワンコイン	受託件数(件)	50	2.15%	62	2.66%	12 減
	契約金額(円)	57,000	0.03%	59,500	0.03%	2,500 減
合 計	受託件数(件)	2,324		2,330		6 減
	契約金額(円)	200,703,801		192,596,111		8,107,690 増

【派遣事業実績】

区 別	項 目	本年度(R3)	規 模	前年度(R2)	規 模	前 年 比
公 共	派遣件数(件)	79	34.05%	30	13.89%	49 増
	契約金額(円)	11,019,563	27.98%	4,480,603	13.42%	6,538,960 増
民間企業	派遣件数(件)	153	65.95%	186	86.11%	33 減
	契約金額(円)	28,359,652	72.02%	28,899,093	86.58%	539,441 減
合 計	派遣件数(件)	232		216		16 増
	契約金額(円)	39,379,215		33,379,696		5,999,519 増

3 会員の就業機会の適正化をめざして

(1) 会員へのキメ細やかな対応

- ・会員からの相談（仕事等の相談）に対し、出来る限り寄り添い、対応することを心掛けた。
- ・発注者からの依頼に対し、速やかに現場確認を行い、就業条件に適した会員を紹介できるよう努めた。また、発注者の意向に寄り添い、就業に適さない会員への対応を慎重に行った。
- ・就業を希望する会員へは、あらゆる手段を用いて仕事の提供を行った。
- ・新入会員へは、直ちに仕事の提供を行った。
- ・未就業会員への対応は、仕事ができない理由の把握に努め、定期的に連絡を行う等、優先的に仕事の提供を行った。
- ・センター事務所内の掲示板に、常時「お仕事の紹介」を掲示して、就業機会の提供に努めた。

【事業別会員別就業実人員数及び未就業会員数】

区 別	会 員 数	就業実人員数 (受 託)	就業実人員数 (派 遣)	就業実人員数 (全 体)	未就業会員数
男	262 人	207 人	33 人	224 人	38 名
女	211 人	159 人	15 人	168 人	43 名
合 計	473 人	366 人	48 人	392 人	81 名
割 合	—	77.4 %	10.1 %	82.9 %	17.1 %

参考 昨年度(令和2年度)は、440人の会員に対し352人(80.0%)が就業されています。

(2) 会員のスキルアップを目指した講習会の開催

【講習会等の開催】

講 習 会 等 名	開 催 日	受 講 者 数
刈払い機指導者養成講習会 (八幡市SC主催)	4月23日	除草班班長 事務局2名
植木剪定講習会 (京田辺市SC主催)	8月5日	植木剪定班5名 事務局1名
ガンバルーン体操指導者養成講習会 (八幡市SC主催)	1月19日、3月23日	推進員2名 事務局2名
植木剪定講習会 (久御山町SC主催)	2月14日～2月28日	植木剪定班4名

4 職域班の充実をめざして

センターの就業は、会員の「自主・自立、共働・共助」を基本としており、より安全な作業遂行と事業効果を高めるため、事業区分に応じて職域班を設置している。

職域班の更なる円滑な運営体制づくりとして、自主的に「班会議」を開催され、現状と課題の把握に努め、班員間の意思疎通が図られ、より良い仕事ができるよう班体制の強化を進めた。

しかし、各単体班において就業希望者が見つからず、後継者問題として課題が残った。

【職域班設置状況】（令和4年3月31日現在）

○ 単体班（設置数9）

班番号	職域班名	主な作業内容	登録者数（人）
1	植木剪定 班	植木の作業に係ること全て	10
2	除草 班	除草の作業に係ること全て	10
3	はりはり工房 班	建具の張替え 等	3
4	公共清掃 班	公共施設(屋外清掃等)	7
5	イオン 班	カート等の整理・回収	25
6	ヤマト 班	メール便の仕分け	15
7	ゆうホール 班	施設の清掃	13
8	荒見苑・中央公園 班	施設の清掃	11
9	平和堂（間口） 班	クレート整理作業	16

○ 複合班（設置数8）

班番号	職域班名	設置グループ数（件）	登録者数（人）
10	自動車運転 班	⑨公共 1、⑨企業 4	計 13
11	技能・技術 班	⑨企業 4、	計 4
12	事務・管理 班	⑨企業 19、⑨公共 8、⑨企業 1、 ⑨公共 5	計 78
13	清掃 班	⑨企業 51、⑨公共 3	計 103
14	軽作業 班	⑨企業 15、⑨家庭 2、⑨公共 2、 ⑨企業 6、⑨公共 1	計 83
15	内職 班	⑨企業 4	計 22
16	家事援助 班	⑨家庭 4	計 3
17	ボランティア 班	就業を希望しない	—

※⑨は「請負」、⑨は「派遣」

【職域班会議の開催状況】

職 域 班 名	開 催 日
植木剪定班・除草班	4/26（合同開催）
植木剪定班	4/7、5/12、6/2、7/7、8/4、10/6、11/10、12/1、1/12、 2/8、2/10、3/2、3/11
除草班	4/2、5/7、6/4、7/2、8/6、10/8、11/5、12/3、1/14、 3/4
公共清掃班	10/11、1/11
イオン班	3/16、3/17
ヤマト班	3/29
間口(平和堂)班	4/20

5 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして

(1) 会員間の活動

開 催 日 等	内 容 等
4月 1日(木)	地域班班長会議（委嘱状の交付等）
4月15日(木)	第1回「なんでもサロン」 参加者：17名
6月22日(火)	第2回「なんでもサロン」 第1回「クラフト手芸講座」参加者：9名

開催日等	内 容 等
7月12日(月)	機関紙「働楽」NO.33の発行
7月15日(木)	第3回「なんでもサロン」 参加者：14名
7月26日(月)	第2回「クラフト手芸講座」参加者：10名
8月 6日(金)	スマホ講習会 参加者：15名
8月16日(月)	第4回「なんでもサロン」 参加者： 4名
10月 4日(月)	スマホ講習会 参加者：12名
10月15日(金)	第5回「なんでもサロン」 参加者： 9名
10月23日(土)	スポ・フェス 参加者：40名
10月25日(月)	第3回「クラフト手芸講座」参加者：12名
11月 9日(火)	スマホ講習会 参加者：10名
11月15日(月)	第6回「なんでもサロン」 参加者： 5名
11月25日(木)	第4回「クラフト手芸講座」参加者：10名
12月 8日(水)	スマホ講習会 参加者：10名
12月15日(水)	第7回「なんでもサロン」 参加者： 9名
12月23日(木)	日帰り親睦旅行（宮津方面）参加者：45名
12月24日(金)	第5回「クラフト手芸講座」参加者：10名
1月 7日(金)	スマホ講習会 参加者： 9名
1月14日(金)	第8回「なんでもサロン」 参加者：10名
1月25日(火)	第6回「クラフト手芸講座」参加者：12名

(2) 地域に対してのPR活動

開催日等	内 容 等
10月28日(木)	地域班活動「ボランティア活動」美化及び普及啓発活動 参加者：47名、活動場所：田井・林交番、クロスピアくみやま周辺
10月(1ヶ月間)	ワンコインサービス無料月間（60歳以上の世帯・1回のみ利用） 利用実績：25件
1年間	「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」センター事務所垂れ幕 【大切な人・久御山町を守るため 打倒!! 新型コロナ】

(3) 他シルバー人材センターの連携

主 催	内 容 等
山城拠点シルバー人材センター 連絡会	事務局職員会議の開催（計2回） 日：7月14日(火)、1月12日(水)
京田辺市シルバー人材センター	先進地SC視察 日：12月6日(月)

(4) 久御山町及び関係団体との連携

開催日等	内 容 等
5月10日(月) 9月17日(金) 3月 8日(火)	生活支援体制整備事業調整会議 出席者：事業課係長他
6月17日(木)	役員就任挨拶まわり 出席者：理事長、副理事長、専務理事、事務局
10月 6日(水)	京都府へ要望活動 出席者：理事長、事務局長
11月 9日(火)	人権啓発研修会 出席者：役員3名

開催日等	内 容 等
11月17日(水)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、副理事長、事務局長、事務局
11月19日(金)	支援のお願い(町要望書写しの提出) 久御山町議会 出席者：理事長、事務局長、事務局
1月 4日(火) 1月11日(火)	年始 挨拶まわり 出席者：理事長、事務局長、事務局
2月 1日(火)	久御山町副町長 懇談 出席者：理事長、事務局次長

6 組織運営の改善と収支バランスの継続をめざして

(1) 定時総会について

本来、法人組織の最高決議機関である総会で、会員一人ひとりが法人の構成員であることを周知徹底し、当日出席者の増員を目指して開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、会員皆様の出席を控えて頂く旨の書面を招集通知と一緒に送付することとなった。

また、同様に来賓方々の出席もご遠慮いただいた。

このような状況の中、6月8日(水)に開催された定時総会は、構成員総数430名の内、出席者は会員5名(役員10名)、委任状提出者313名、書面評決提出者1名、出席者合計319名(役員含まない)で、出席率は74.2%という結果であった。

(2) 収支の状況について

収支バランスについて、新型コロナウイルスの影響を受けて、契約金額は目標値を下回ることとなったが、支出においては、必要最小限の事業遂行に応じ、適切に対応した結果、収益増となり、将来必要となる資金の準備を着実にいった。

(3) 事務所改修工事について

現在の事務所は、平成22年7月から当センターで使用しています。その間、雨漏りにより、談話室をはじめ壁の剥がれやシミ等が各所に発生し、補修の必要が迫られた。

また、会員にセンター事務所を更に活用して頂くために、10年間積立てた予算の範囲内で、次のとおり改修工事を実施した。

【工事関係】

- ・工事期間 令和4年1月8日から令和4年3月14日
- ・工事完成 令和4年3月15日
- ・工事金額 8,437,000円(消費税込み)

【工事内容】

- ・屋根(塩ビシート防水加工)
- ・談話室(全面やり替え、出入口及び手洗いの設置)
- ・玄関ホール(自動ドアの設置、天井張替え、照明器具取替え)
- ・会議室(天井、壁、建具の塗装)
- ・理事長室(壁の洗浄、天井の張替え、照明器具取替え)
- ・廊下(照明器具取替え)

IV 安全就業をめざして

"安全は、就業の全てに優先する"を合言葉に、無事故を目指し取り組みましたが、残念ながら事故が発生しました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) 安全就業推進のための取組み

- ・安全就業大会の開催 (3月18日(金)開催：出席者19名)
内容 安全リーダー研修「事故防止は気付くこと・気づかせること」
講師 マーシュ総研株式会社 TRM 営業本部マネージャー 中尾 久和 様
- ・(公社) 京都府シルバー人材センター連合会主催
「安全・適正就業推進大会」への参加 (7月30日(金)、理事長、事務局長他)
- ・令和3年度安全・適正就業に関する標語の取組み
会員より2作品を推薦した。
「過信せず いつも心に余裕 安全への道」(S氏)
「はっとする 怪我みる前に 余裕持ち」(S氏)

(2) 安全対策の取組み

- 10月の間、部会員及び事務局担当者が「安全就業パトロール」を実施した。
・10月13日、20日、27日、28日(10ヶ所で実施)
各現場とも、安全就業に対する意識はみられたが、不安全な状態での作業や、一瞬の気の緩みで、大事故に繋がる恐れのある現場もあったので、その都度、就業会員には安全に作業するよう指導した。

(3) 安全就業の徹底

- ・各単体班に「安全就業担当推進員」を委嘱し、日常作業において、班員一人ひとりの安全就業意識の向上に努めた。
令和3年8月2日より開始
- ・安全就業の徹底を図るため、安全就業担当推進員を中心に、職域班間(就業会員間)及び職域班と事務局間での「報告・連絡・相談」を徹底した。

(4) 就業時の「安全チェック」の継続

就業者全員に、就業前の「体調確認」(自己診断)及び、就業中等の「ヒヤリ・ハット」を記載する「安全就業チェック表」の提出を義務付け、日常の安全管理に努めた。

(5) 安全保護具等の整備

- ・老朽化に伴い、1tトラックを更新した。
- ・作業機械等の不具合や故障に対し、可能な限り迅速に対応した。

(6) 本年度事故報告(シルバー保険適用)

【傷害事故報告】 事故2件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	保険受取金
5月	71	男	午前	就業者	荷物を積んだボックス(台車 約高さ200、横150、幅150、コマの大きさ120)を移動中に、左足を挟んだ。 (安全靴着用) 左足親指捻挫 通院6日	12,000円
8月	70	男	午前	就業者	コンテナの流れが悪くなり、詰まっている原因を探るため、梯子に上ったところ、バランスを崩し、右手親指と右胸を負傷した。 通院5日	10,000円

【賠償事故報告】 事故 2 件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	弁償金
4月	75	男	午後	就業中	NC 旋盤のワーク(製品)脱着作業中に、取付きの向きを逆にしていたため、合計 85 個の不良品を作製した。	303,875 円
6月	76	男	午後	就業中	刈払い機で除草作業中、石を飛ばし、駐車してあった車のリアガラスを破損させた。	128,535 円

【車両事故報告】 事故 1 件

発生月	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	修繕等費用
7月	77	男	午前	就業中	残材回収の為、公用車(パッカー車)を方向転換するためにバックしたところ脱輪させた。 レッカー車による引上げが必要となった。	55,000 円

【参考：過去 5 年間の事故発生状況】

(単位：件)

	令和 3 年度 (当該年度)	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
傷害事故	2	2	1	0	4
賠償事故	2	2	0	1	4
車両事故	1	2	2	0	5
合 計	5	6	3	1	13